

私たちが毎日
つくるジーンズ、
誰がはいて
いるんだろう？



アムステルダム国際
ドキュメンタリー映画祭
アムネ스티・ヒューマン
ライツ・アワード受賞

PBS
インディペンデントレンズ
観客賞受賞

トロント国際映画祭
正式出品作品

じょ う エ レ ジ ー

女工哀歌

CHINA BLUE

監督・撮影・製作:ミカ・X・ベレド

編集:マニエル・ツィンガリス、ミカ・X・ベレド

音楽:ミリアム・カトラー

録音・製作権:ノン・チェン

原題:China Blue / 2005年 / アメリカ / 88分 / カラー / ビスタ / 中国語・英語 / 字幕翻訳:石田泰子

提供:株式会社新日本映画社 配給:宣伝:エスペース・サロウ <http://www.espace-sarou.co.jp> © 2005 Teddy Bear Films [TVS] - all rights reserved

もし、買ったばかりのジーンズのポケットから、それを作った少女からの手紙が出てきたら…!?



「記憶に残る、忘れがたいドキュメンタリーだ。」
— ホストン・フェニックス —

「中国の労働状況と、若い労働者たちの感動的で繊細なポートレート。」
— ル・モンド —

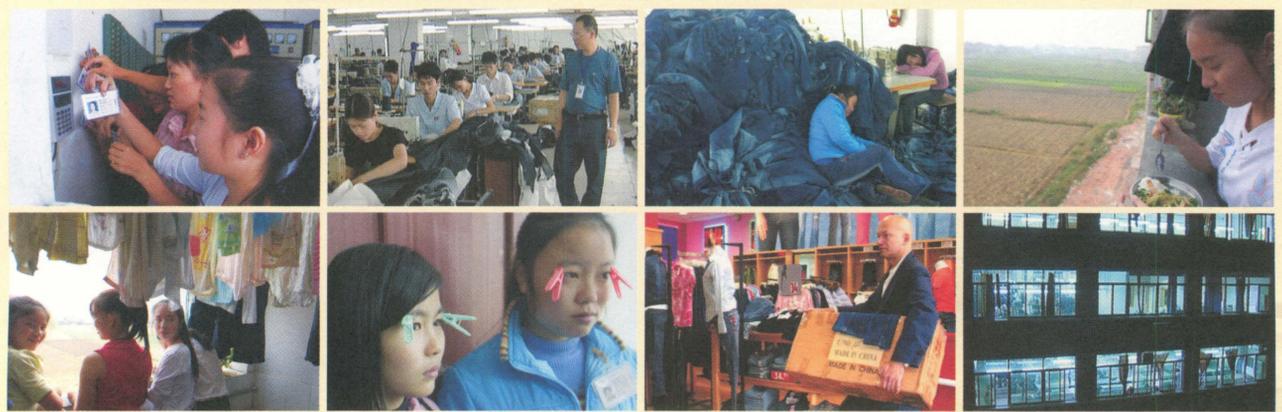
「少女たちの過酷な生活だけでなく、夢や希望も描いている。」
— ニューヨーク・タイムズ —

「少女たちは、ディケンズの『オリバー・ツイスト』のように愛らしい。」
— シアトル・タイムズ —

少女たちの平均年齢15歳、時給7円、1日18時間労働… だれもが持っているジーンズから知る、私たちの世界の繁栄と矛盾。

私たちに「ジーンズ」はもっとも身近な服。本作はその生産過程を追って、世界の衣料品の大半を生産している中国の工場に密着したドキュメンタリー。圧倒的なコスト削減と技術力の向上により、今や「世界の工場」となった中国。その裏側を探るため、工場で働く10代の少女たちの日常生活に迫ります。度々問題視されてきた少女たちの過酷な労働条件、またそれを知りつつ低コストで仕事を受注する工場長、視察に訪れ

る多国籍企業の面々…。国や時代は変わっても、同じ構造をたどって発展する資本主義経済。しかし、本作は急速なグローバル化への疑問と同時に、過酷な生活の中にも夢や希望を見出す個性ある少女たちをも見事に捉えています。また「セサミ・ストリート」をはじめ、多くの優れたドキュメンタリーを放送することで知られる米国のPBS(非営利公共放送局)でも、07年度の観客賞を受賞しました。



『女工哀歌』から見えてくる世界の労働問題

1990年代以降、多くの工場で低賃金・長時間・児童労働の例が報告されている。経済がグローバル化した今、大企業は国内外を問わずコストの安い地域を選んで、数千にもおよぶ請負会社や下請企業と契約して生産を委託している。そのため、仕事を得るための価格競争がおこり、立場の弱い労働者から賃金を不当に搾取る工場も出てきた。

これまでに低賃金・長時間・児童労働などが報道された例
 GAP……………インド・エルサルバドルの現地工場
 NIKE……………東南アジアの現地工場
 リーバイス……………中国の請負工場
 スターバックス…グアテマラのコーヒー農場
 ウォルマート……………中国・ホンジュラスの衣料工場
 マクドナルド……………ハッピーセットのおまけを作った中国の工場
 ディズニー……………ハイチの自社ブランド品生産工場

10月4日公開「フツの仕事がしたい」(ボレボレ東中野)との相互割引実施!
 映画「フツの仕事がしたい」の半券の提示で、一般料金・学生料金より200円割引します。※他の割引との併用、1,000以下の料金には適用されません。

9/27 土 ちろ道ショー!
 特別前売鑑賞券1,500円絶賛発売中!
 ★「ジーンズ型」オリジナルミニメッセージカード(5枚)付き!
 当日 一般1,800円 / 学生1,500円 / 小・中・高・シニア・会員1,000円

渋谷駅より徒歩8分。宮益坂上がり、次の信号スターバックスコーヒー右手入る。
[シアター] イメージフォーラム
 03-5766-0114 <http://www.imageforum.co.jp>
 12:50 14:50 16:50 18:50

自由座・整理券制・定員入替制
 ピックカメラ 渋谷駅 10分
 JR 渋谷駅 10分
 自由座・整理券制・定員入替制